

令和4年度 第1回 近畿中部防衛局入札監視委員会審議概要

近畿中部防衛局

開催日及び場所	令和4年6月21日（火） 大阪合同庁舎2号館 5階 共用会議室C
委員	小原 正敏（弁護士） 北岡 慎太郎（公認会計士） 滝 明良（元公正取引委員会職員） 奥 和義（大学教授） 山本 貴士（大学院教授）

I 地方防衛局等が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和4年1月1日～令和4年3月31日
審議対象件数	近畿中部防衛局 39件 東海防衛支局 1件

1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）

抽出件数		3件	(審議概要) 入札等の状況について
建設工事	一般競争	0件	
	一般競争（政府調達協定対象外）	1件	
	公募型指名競争	0件	
	企画競争	0件	
	随意契約	0件	
建設コンサルタント業務等		2件	
		意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		【抽出案件】 【近畿中部防衛局】 ○建設工事 一般競争（政府調達協定対象外） [小松（3）構内配電線路等整備工事] 予定価格はどのように積算したのか。 高落札率になった理由は何か。 今回と同種の工事であれば、落札率が90%代であることが多いのか。	積算は、官庁営繕関係省庁の統一基準である「公共建築工事積算基準」及び当省の「防衛施設設備積算要領」に基づき算定している。 積算基準等は広く公表されているほか、過去の工事の積算内訳及び根拠等は電子入札システムなどで全て公開していることから、当局の積算価格に近い額の積算が可能であったと思料する。 貴意のとおりである。

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>1 者が入札を辞退しているが、理由は何か。</p> <p>評価点の内訳「企業の信頼性・社会性、その他」の項目はどのような内容を評価しているのか。</p> <p>落札者の当該項目が0点であっても問題はないという事か。</p> <p>○建設コンサルタント業務等 一般競争（政府調達協定対象外） [舞鶴（3補）既設建物解体建築調査]</p> <p>低落札率であるが、何か理由があるのか。</p> <p>最低入札額から最高入札額までの幅がかなりあるが、理由についてどのように考えているか。</p> <p>○建設コンサルタント業務等 随意契約（公募型プロポーザル方式） [饗庭野演習場周辺土砂流出対策調査業務]</p> <p>予定価格の積算はどのようにしたのか。</p> <p>評価点数は、競争参加資格等審査委員会において審査して決定したのか。</p>	<p>詳細は確認していないが、複数の入札に参加していて、当局以外の工事を先に受注したため、技術者の配置が出来なくなり辞退したのではないかと考える。</p> <p>工事を行う小松市において、地元企業を下請けに採用する、地産品を使用する、地元のボランティア活動を行うなどの実績がある場合に、評価点を付与している。</p> <p>貴意のとおりである。</p> <p>業者からは、本業務の履行期間の関係上、技術者を配置しやすいこと等から人件費及び経費を必要最小限に抑えた入札が可能であった旨聞いている。</p> <p>価格競争の入札であることから、受注意欲がある者は経費を必要最小限に抑え応札したこと。また遠方から参加した業者は地元の業者より経費がかかることなどから入札額の幅が広がったものと思料する。</p> <p>本調査の積算は、技術提案書等の評価点数の最上位者からの参考見積もりと土木工事に係る設計業務委託積算要領に基づき行っている。 なお、積算要領、人件費単価などは、公表されているところである。</p> <p>評価点数については、局内から5名を選定し、その5名が点数を付けており、評価値の最上位と最下位の各1名を除いた3名の平均点を評価点数としている。その評価結果について競争参加資格等審査委員会に諮り、了承を得ているところである。</p>

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	見積合わせはどのように行うのか。 見積りを提出した1者は、予定価格を知っているのか。	当局で、予定価格を算定し、特定した1者から、見積りを提出してもらい、予定価格以下であれば契約するものである。 予定価格は、知り得ない。

2. 談合疑義案件の処理状況について

談合疑義案件		0件	(審議概要) なし
工事	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
業務	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
	意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	なし	なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし		

3. 入札結果の事後的・統計的分析結果について

審議概要	順位傾向の分析、落札率・応札率の分析等を行った資料を委員に配布	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	なし	なし
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

4. 再苦情処理（再説明請求回答）

該当事案なし

令和4年度 第1回 近畿中部防衛局入札監視委員会審議概要

近畿中部防衛局

開催日及び場所	令和4年6月21日(火) 大阪合同庁舎2号館 5階 共用会議室C
委員	小原 正敏 (弁護士) 北岡 慎太郎 (公認会計士) 滝 明良 (元公正取引委員会職員) 奥 和義 (大学教授) 山本 貴士 (大学院教授)

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日	
審議対象件数	防衛装備庁岐阜試験場 267件 近畿中部防衛局 131件 東海防衛支局 85件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	11件	(審議概要) 入札の状況について
一般競争	4件	
公募型指名競争	0件	
企画競争	0件	
随意契約	7件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問	回答
	<p>【抽出案件】 【防衛装備庁岐阜試験場】 ○一般競争契約 [総合調整場の各種設備の点検]</p> <p>点検は自主的なものか、或いは法定点検か。また、何年ペースで実施しているのか。</p> <p>1者応札となっているが、どのような理由が考えられるか。</p> <p>点検は特殊なものか。</p> <p>高落札率となった理由はどのようなことが考えられるか。</p> <p>○随意契約 [哨戒機用新空対艦誘導弾の性能確認試験のための技術支援]</p> <p>三菱重工業は過去にも実績があるのか。</p>	<p>法定点検ではなく自主点検であり、毎年1回実施している。</p> <p>見積書は2者から提出があり、複数者の入札を見込んでいたが、内1者が入札日に都合がつかなくなったとのことで結果的に1者の入札になったところである。</p> <p>特殊なものではなく、通常行われる点検である。</p> <p>今般の落札者は過去に落札実績があり確度の高い応札ができたのではないかと思料する。</p> <p>実績がある。なお、現有のASM-1Cの納品は三菱重工業が主要企業となり行っている。</p>

	意見・質問	回答
	<p>高落札率の理由はどのように考えているか。</p> <p>○随意契約 [DES I - K I T]</p> <p>このメーカーを使用しないといけない法的なもの等があるのか。</p> <p>初めての調達なのか。落札比率はないものか。</p> <p>相手先が決まっているなら入札する意味はあるのか。</p> <p>○随意契約 [テレメータ計測車の設置及び調整]</p> <p>落札比率が100%になっているのはなぜか。</p> <p>契約時に防衛技術情報が漏れないための取り決め等はあるのか。</p> <p>○随意契約 [BEARING]</p> <p>専用部品なのか。</p> <p>調達品目は3種類あるが、数量がすべて同じである。一斉に取り替えるのか。在庫はないのか。</p> <p>部品は余ることはあるのか。</p>	<p>技術支援については、時間単価×作業時間に日当、交通費等の直接経費を加え積算しているが、時間単価及び経費を刻んで応札した結果、高落札になったのではないかと思料する。</p> <p>法的根拠はないが、本品はミサイル警報装置システムを製造したドイツのメーカーによって指定されている専用の消耗品である。</p> <p>海自で実績があり、海自航空補給処に調査を行ったが値引きできるものではなかった。</p> <p>本件は公募随契としている。1者しかいないと思われるものの、他に参加者がいないと言い切れないことから公募し、他の参加者がいないことを確認した上で、随意契約としている。</p> <p>本件は公募随契であり、直接経費である工数について7回にわたり細かく刻んで見積合わせした結果、このようになったと思料する。</p> <p>契約書に特約条項を付けている。</p> <p>貴意のとおり。</p> <p>摩耗している部品を交換する。在庫の確認や運用回転翼機の実績、予備品等を考慮した上での調達数になっている。</p> <p>余る可能性はある。試験中に在庫が切れて試験が中止にならないようにある程度余裕をもって調達している。なお、飛行の状況によって摩耗の状況は異なる。</p>

	意見・質問	回答
	<p>○随意契約 [データ解析役務]</p> <p>NECとの契約が多いのでは。</p> <p>入札しているのはなぜか。</p> <p>落札比率が100%だが「テレメータ計測車の設置及び調整」と同様の理由か。</p> <p>○随意契約 [回転翼哨戒機（能力向上型）の性能確認試験のための技術支援（機体側）（その3）]</p> <p>こちらも「テレメータ計測車の設置及び調整」と同様の理由で高落札となっているのか。</p> <p>○随意契約 [POWER SUPPLY他3品目]</p> <p>調達時において部品番号と名称では、部品番号を優先するとあるが、川崎重工業しか対応できないようにしているのではないか。</p> <p>落札比率があるものは基本的に使用しているのか。</p> <p>○一般競争契約 [器材借上（その4）]</p> <p>予定価格算出時の参考見積書に対しかなり安い価格で落札となっているが、メーカーは限定しているのか。</p> <p>故障や能力が足りない等の問題は生じないのか。</p> <p>また、新品限定か、中古品も可能なのか。</p> <p>借上げはよくあるのか。</p>	<p>防衛産業は特殊性が高く、特殊な技術が必要。国内ではメーカーがかなり少数であるのが現状。</p> <p>入札ではなく公募随契としている。</p> <p>貴意のとおり。</p> <p>貴意のとおり</p> <p>川崎重工業以外のベンダーが参加する可能性もあるため、公募を実施した上で随意契約としている。</p> <p>補用品の実績があるので落札比率は予定価格に反映している。</p> <p>限定していない。</p> <p>故障なく使用できている。</p> <p>新品限定にはしていない。スペックを満たしていれば中古品でも問題はない。</p> <p>試験ごとに借上げを実施している。</p>

	意見・質問	回答
	<p>【近畿中部防衛局】 ○一般競争契約 [令和3年度小松基地周辺航空障害木に係る測量業務及び補償物件調査業務]</p> <p>低落札率であるが、業務に支障はないのか。</p> <p>○一般競争契約 [小松飛行場（3）住宅防音事業事務手続補助等業務（その12）]</p> <p>1者応札となった理由はどのように考えているか。</p> <p>落札率が90%と高いが、積算方法はどのようなものか。</p> <p>複数発注しているとのことだが、地域を分けて発注しているのか。また、困難度が違ったりするのか。</p> <p>結果的に後の入札より前の入札の方が落札率は低いのか。</p>	<p>年度当初の発注のため、担当者の手持ち業務が少なく、過去に契約実績もあることから経費を抑えて応札している。</p> <p>積算に関しては、当局と同様に、測量費については国土交通省設計業務等標準積算基準書を、補償物件調査費については、北陸地区用地対策連絡会発簡の損失補償算定標準書を基に積算していることから問題はないと判断しており、成果品も問題なかったことを確認している。</p> <p>同様の案件が同日に7件、5月に6件あり、既に契約又は落札した案件のある業者が辞退している、結果的に1者になったと思料する。</p> <p>積算要領として、「住宅防音事業に係る事務手続補助等委託業務実施要項」が定められており、当省のHP等で公表されていることから、相手方は予定価格に近い積算をすることが可能であると思料する。</p> <p>業務によって地域分けはしておらず、困難度についても、違いはない。</p> <p>相対的には、そのような傾向にあるものと思料する。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>特になし</p>	